

第146回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

当座預金	普通預金	受取手形	クレジット売掛金
未収還付消費税	仮払消費税	備品	機械装置
不渡手形	支払手形	買掛金	未払消費税
仮受消費税	立替金	前受金	預り金
資本金	資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金
繰越利益剰余金	売上	有価証券利息	国庫補助金受贈益
仕入	給料	支払手数料	研究開発費
租税公課	支払利息	手形売却損	固定資産圧縮損

1. 商品 ¥ 400,000 をクレジット払いの条件で販売した。なお、信販会社へのクレジット手数料3%は、入金時に計上することとした。
2. 研究開発に従事している従業員の給料 ¥ 500,000 および研究開発にのみ使用する目的で購入した備品（ ¥ 1,000,000 ）と機械装置（ ¥ 2,000,000 ）の代金を普通預金口座から振り込んで支払った。
3. 備品 ¥ 800,000 の取得にあたり、国庫補助金 ¥ 300,000 を受け取っていたが、誤って前受金の増加として処理していたことが判明した。本日、この誤りを修正するとともに、直接控除方式により圧縮記帳の処理を行った。
4. 会社の設立にあたり、発行可能株式総数 1,000 株のうち 300 株を 1 株あたり ¥ 5,000 の価額で発行し、その全額の引受けと払込みを受け、払込金は当座預金とした。なお、払込金の 6 割に相当する金額を資本金とする。
5. 決算を行い、納付すべき消費税の額を算定した。なお、本年度の消費税の仮払分は ¥ 720,000、仮受分は ¥ 580,000 であり、消費税の記帳は税抜方式により行っている。